

目次

口
繪

九 序

細目次

第一編 県民生活と地域社会

第一章 県民生活の変化

第一節 生活規制

第三節 衣食住・暮らし方

第四節 結婚と子ども……………四八

第五節 娯楽の拡大

+

+

第二章 女性と近代六三

第一節 女性の位置六三

第一節 士族・農民から労働者へ七三

第三節 社会活動への進出九〇

第四節 女性の発言と行動一〇一

第五節 愛国婦人会の育成一一〇

第三章 地域社会の変貌一一七

第一節 村社会とムラ一一七

一 近代初期の村一一七

二 町村制下の村一一九

三 日露戦争後の村一四四

第二節 都市社会一六三

一 近代都市の発足一六三

二 都市の拡大一七三

+

+

三 都市としての整備…………… [八二]

第四章 衛生・災害・環境・犯罪…………… [九三]

第一節 科学的な衛生観念の形成…………… [九三]

- 一 呪術から科学へ…………… [九三]
- 二 伝染病との闘い…………… [九七]

第二節 災害と備え…………… [一九]

- 一 災害のもたらしたもの…………… [一九]
- 二 防災への備え…………… [一七]

第三節 生活環境の破壊と保全…………… [三九]

- 一 環境問題の発生…………… [三九]
- 二 生活環境の保全…………… [四一]

第四節 犯罪と社会…………… [五〇]

- 一 犯罪者の世界と周辺…………… [五〇]
- 二 防犯への備え…………… [七〇]

+

+

+

第五章 宗教と祭礼.....[1]七七

第一節 国家神道と神社・神官・氏子.....[1]七七

第二節 仏教の近代化と革新運動.....[1]九五

第三節 キリスト教・新宗教と「信教の自由」.....[1]一

一 キリスト教.....[1]一

二 新宗教.....[1]一七

第四節 国家の祭祀と庶民.....[1]一一

一 戦没者の慰靈.....[1]一

二 天皇代替わり儀式.....[1]一

第五節 宗教者の社会的活動.....[1]四〇

第六節 民衆の信仰と祭礼.....[1]五〇

一 民衆の信仰.....[1]五〇

二 祭礼.....[1]五六

第六章 戦争・軍隊と庶民.....[1]六一

+

+

+

+

第一節 西南戦争.....	三三K-1
第二節 日清戦争.....	三三六四
第三節 日露戦争.....	三三七九
第四節 第一次世界大戦.....	三三九四
第五節 軍事演習.....	三四〇一
第六節 軍事援護団体.....	三四〇六
第七節 軍隊に対する県民の意識.....	三四一四
第七章 被差別部落と植民地民族.....	四三一一
第一節 被差別部落民の問題.....	四三一一
一 差別と貧困.....	四三一一
二 差別問題の論調.....	四三一六
第一節 部落改善事業の展開.....	四三一七
一 社会対策としての改善事業.....	四三一七
二 部落内外からの改善事業.....	四三一七

+

+

+

三　自主的改善運動の動向 四四四

第三節　民族差別の問題 四四七

一　台灣住民 四四七

二　朝鮮人 四五〇

三　朝鮮問題論調 四五四

第八章　社会事業の摸索 四六一

第一節　県民救済の方向 四六一

第二節　草創期の愛知育児院 四七一

第三節　社会事業家 四八六

第四節　施設の諸相 四九八

第五節　救済資金 五〇三

第二編　近代前期の社会運動 五一一

第一章　公娼制度と廢娼運動 五一三

+

第一節 公娼制の復活 五一三

第二節 遊廓と娼妓 五二三

一 廊の構成 五二三

二 娼妓の環境 五二七

三 娼妓の経済生活 五三一

第三節 廃娼運動 五三八

一 脱楼 五三八

二 民間からの廃娼運動 五四二

三 楼主側の反応 五四九

四 娼妓の自由廃業運動 五五三

第一章 兵士・民衆の軍事への異議五六五

第一節 軍隊社会の諸問題五六五

第二節 軍隊からの逃避五七三

一 徵兵検査忌避五七三

二 召集忌避五七八

二二 逃亡と血殺 五八三

第三節 軍・戦争への異議と批判 五九三

一 軍隊批判と非協力 五九三

二一 軍拡・戦争批判論 五九九

第三章 農村の状態と農民運動 六〇七

第一節 農村の変貌 六〇七

一 窮乏・小作人問題 六〇七

二一 出稼いり・移住 六一五

三 地主・篤農家 六一〇

第二節 小作紛争 六一七

一 明治前期 六一七

二一 明治中期 六三四

三 明治後期～大正前期 六四三

第三節 小作人と地主の組合結成 六五一

一 初期の小作人組織 六五一

一一 大正前期の小作人・地主の組織 六五一

第四章 労働環境と労働運動 六五七

第一節 労働者と職場 六五七

一 経営者の配慮 六五七

二 虐待 六五九

三 労働災害・疾病 六六四

四 労災取締規則 六七一

第二節 労働争議 六七四

一 屋外労働者・職人の争議 六七四

二 工場労働者・職員の争議 六七八

第三節 労働者の組合組織 六九〇

第四節 労働者保護論と工場法 六九六

一 労働者保護論 六九六

二 工場法 七〇七

+

+

第五章 初期社会主義と大逆事件 七一七

第一節 愛知の初期社会主義運動 七一七

第一節 片山潜の愛知遊説 七一六

第三節 愛知における宮下太吉と大逆事件 七二二

第四節 初期社会主義者群像 七四一

第六章 住民問題と住民運動 七七三

第一節 地域紛争と住民 七七三

一 地方首長などへの批判 七七三

二 地方政策をめぐる紛争と規制 七七六

三 公害など生活権をめぐる紛争 七八一

第二節 学園生活をめぐる生徒の紛争 七八八

第三節 都市住民の料金値下げ運動 七九五

一 借家人の運動 七九五

二 借地人の運動 七九九

+

三 電気料金値下げ運動 八〇一

第四節 名古屋電車焼き打ち事件 八〇七

一 電車貸引下げ問題 八〇七

二 焼き打ち騒擾事件 八一二

三 焼き打ち事件の影響 八一九

第七章 商工業者・地主と言論人の運動 八一五

第一節 明治期の反税・減租運動 八一五

一 日清戦争期の増税と反税運動 八一五

二 日露戦争期の増税と反税運動 八一八

三 地租軽減運動 八三三

第二節 大正前期の反税・減租運動 八三六

一 一九一四年の営業税廃止運動 八三六

二 一九一四年の地租軽減運動 八四三

三 職工税反対運動 八四七

第三節 日露講和反対運動 八五一

+

+

+

一 講和会議報道と反対論 八五一

二 県内各地の講和反対運動 八五三

三 県民大会の高揚 八五七

第四節 「大正デモクラシー」の登場 八六〇

一 記者団の活動と護憲・反閥族論調 八六〇

二 海軍廓清運動 八六四

三 「デモクラシー」の提起と普及活動 八六八

第八章 米騒動と民衆 八七九

第一節 県内各地の米騒動 八七九

一 名古屋地域の米騒動 八七九

二 尾張地域の米騒動 九〇五

三 三河地域の米騒動 九一二

第二節 米廉売状況 九一七

第三節 報道禁止と新聞の反撃 九二二

+

解説……………九三九

あとがき

資料提供者及び協力者

愛知県史編さん関係者名簿

+

+

+

細目次

第一編 県民生活と地域社会

第一章 県民生活の変化

第一節 生活規制

1 民智を開くため新聞を購入すべきこと 明治四年(一八七一)十一月	13	渥美郡の衣食住 一九〇六年(明治三十九)一月	10	名古屋の新聞雑誌沿革(抄) 一九〇一年(明治三十四)九—十一月
2 各自職業に励むべし 明治五年(一八七二)九月	14	豊橋歩兵第六十連隊兵卒副食物献立表 一九〇六年(明治三十九)	11	愛知 商家案内(名古屋市門前町) 一九〇二年(明治三十五)六・七月
3 宝飯郡赤坂村諸規則 一八七三年(明治六)頃	15	デパートのにぎわい 玉樹女史 一九一一年(明治四十四)四月一日	12	西春日井郡児童調査(抄) 一九〇六年(明治三十九)一月
4 身分に応じた婚礼葬祭をすべきこと 一八七三年(明治六)二月	16	渥美郡田原町申合規約書 一九二一年(明治四十四)八月	13	渥美郡の衣食住 一九〇六年(明治三十九)一月
5 諸興行取締規則(抄) 一八八五年(明治十八)十月十五日	17	経済的に瓦斯を使用する法(抄) 一九一二年(大正元)十一月七日	14	豊橋歩兵第六十連隊兵卒副食物献立表 一九〇六年(明治三十九)
6 額田郡蕪木村勉強節儉儲蓄村則 一八八五年(明治十八)十一月二十日	18	郊外へ移る勤人の家庭 一九一七年(大正六)四月十八日	15	デパートのにぎわい 玉樹女史 一九一一年(明治四十四)四月一日
7 第二節 衣食住・暮らし方	19	本県の苦しい中小農生活 一九一七年(大正六)六月	16	渥美郡田原町申合規約書 一九二一年(明治四十四)八月
8 火事で焼失したもの一覧 一八八四年(明治十七)三月	20	碧海郡刈谷村窮民原由及び人名取調書(抄) 一八八五年(明治十八)	17	経済的に瓦斯を使用する法(抄) 一九一二年(大正元)十一月七日
9 県下人民常食歩合表 一八八五年(明治十八)十二月	21	北設楽郡稻橋村就学猶予願(抄) 一八九一年(明治二十四)二月	18	郊外へ移る勤人の家庭 一九一七年(大正六)四月十八日
名古屋新柳町納屋橋の通行人 一九〇一年(明治三十四)九月	22	愛知育児院入院者の事情 一九〇四年(明治三十七)七月	19	本県の苦しい中小農生活 一九一七年(大正六)六月

23	第四節 結婚と子ども	33	勧農積徳社の善行者表彰規定
24	離籍寡婦の増加	34	婦人のつとめ
25	神前の結婚式	35	新らしい男女の戦い 小林橘川
26	一九〇六年(明治三十九)九月十二日	36	芳舎漫筆(青木穂子日記)(抄)
27	一九〇九年(明治四十二)三月三十一日	37	婦人に對する社会の責任 桐生悠々
28	婚姻次第と持參品目録	38	一九一五年(大正四)三月
29	丹羽郡楽田村小児死亡者調査	39	一九一五年(大正四)四月一日
30	一九一六年(大正五)五月一日	40	新らしい男女の戦い 小林橘川
31	第五節 娯楽の拡大	41	富岡製糸所工女の手紙
32	かるた会の流行	42	一八八〇年(明治十三)
33	一九一〇年(明治四十三)一月十一日	43	一八七六年(明治九)五月頃
34	吳服俱楽部	44	職工織女募集法
35	一九一〇年(明治四十三)三月四日	45	一八八六年(明治十九)五月二十一日
36	工女の江州踊	46	看護婦寄宿舎の生活 加藤欽子
37	一九一六年(大正五)九月十六日	47	一八九九年(明治三十二)十一月九日
38	女学生と映画	48	看護婦募集広告
39	一九一七年(大正六)二月十三日	49	通勤工女入用広告
40	第二章 女性と近代	50	看護婦寄宿舎の生活 加藤欽子
41	第一節 女性の位置	51	一九〇七年(明治四十)七月二十六日
42	女学のすすめ	52	一九〇八年(明治四十一)二月二十日
43	明治五年(一八七二)四月	53	女細見(抄)
44	良妻と不良妻	54	一九一〇年(明治四十三)一一三月
45	一八九九年(明治三十二)四月十八日	55	女教員休養期間
46	一八九九年(明治三十二)四月十八日	56	一九〇八年(明治四十一)二月二十日

47	女の職業—ミシン裁縫 一九一五年(大正四)十二月四日.....	86	名古屋市の小学校女教員研究会 一九一八年(大正七)十月六日.....	61
48	内職の変遷 一九一六年(大正五)一月二十二日.....	87	名古屋市の婦人問題研究会 一九一八年(大正七)十一月二十七日.....	62
49	名古屋市内の女子の職業調べ 一九一七年(大正六)十一月九日.....	88	第四節 女性の発言と行動	100
50	女のタピスト 一九一七年(大正六)十一月十九日.....	89	第三節 社会活動への進出	101
51	仏教婦人会発会式 一八九〇年(明治二十三)七月十四日.....	90	63 婦人傍聴の初席 一八九〇年(明治二十三)十一月十一日.....	63
52	金城婦人会 一八九七年(明治三十)一月十五日.....	90	64 妻の覚悟 岩佐豊子 一九〇六年(明治三十九)十一月六日.....	101
53	鉱毒救済演説会 一九〇二年(明治三十五)二月十五日.....	91	65 芸妓の壳春 一九〇六年(明治三十九)十一月六日.....	102
54	慈善音楽会決算報告 一九〇二年(明治三十五)二月二十六日.....	91	66 婦人の覚醒(抄) 原田琴子 一九一一年(明治四十四)十月一日.....	102
55	愛知婦人国恩会 一九〇五年(明治三十八)四月二十一日.....	92	67 夜明の灯 原田琴子 一九一一年(明治四十四)十一月.....	104
56	矯風会の醜業議員排斥 一九〇六年(明治三十九)九月二十日.....	92	68 婦人より男子へ回答(抄) 一九一八年(大正七)三月.....	105
57	名古屋の婦人団体(抄) 一九〇九年(明治四十二)一月.....	93	69 愛知県女教員大会を観て 市川房枝 一九一八年(大正七)六月二十三日.....	108
58	額田郡下山村母会規則 一九〇九年(明治四十二)一月九日.....	95	第七節 愛国婦人会の育成	110
59	額田郡下山村処女会規則(抄) 一九〇九年(明治四十二)二月九日.....	97	70 愛国婦人会会員募集(碧海郡) 一九〇四年(明治三十七)四月五日.....	105
60	婦人農会補助 一九一八年(大正七)七月七日.....	98	71 愛国婦人会会員勧誘依頼(額田郡) 一九〇五年(明治三十八)二月十三日.....	111
99		99	72 韓国駐留軍人等への慰問金品寄贈依頼 一九〇八年(明治四十二)九月四日.....	112

122	名古屋の改良下水道 一九一一年(明治四十四)六月九日.....	189
123	水道を使用している家 一九一六年(大正五)八月三十日.....	191
124	愛知郡千種町の一部を名古屋市に編入する件 一九一七年(大正六)一月二十九日.....	192
125	まじないやおはらいは医療に障害 一八八三年(明治十六)八月二十五日.....	193
126	天然痘の害毒と種痘の獎勵 一八七五年(明治八)二月.....	193
127	天然痘患者が神棚に供えた赤飯焼棄のこと 一八九二年(明治二十五)二月二十九日.....	194
128	飲料水への注意 一八八七年(明治二十六)二月.....	195
129	飲料井水検査要項とその結果 一九一三年(大正二)十月二十一日.....	195
130	コレラ類似症状も隠さず届け出ること 一八七九年(明治十二)七月四日.....	197
131	小児「ハヤテ」病での入院は全費用を給与 一八八六年(明治十九)三月十五日.....	197
132	伝染病感染巡査への救助料金 一九〇〇年(明治三十二)一月十一日.....	198
133	明治三十四年の赤痢病流行記録(抄) 一九〇三年(明治三十六).....	198
134	トラホーム検診の通知 一九〇七年(明治四十)六月二十五日.....	208
135	芸妓の検徴問題 一九一三年(大正二)八月八日.....	209
136	芸妓検診の結果 一九一三年(大正二)九月二十三日.....	211
137	丹羽郡楽田村伝染病予防活動に関する日記(抄) 一九一五一六年(大正四一五).....	211
138	ペスト予防のネズミ退治 一九一六年(大正五年)十一月.....	212
139	水害による御救助米願 一八八五年(明治十八)七月五日.....	215
140	濃尾震災による窮状報告(抄) 一八九一年(明治二十四).....	219
141	濃尾震災見聞記 一八九一年(明治二十四)十一月.....	219
142	五条川井堰復旧工事に関する関係村民の激昂 一八九二年(明治二十五)七月八日.....	221
143	明治用水による流域被害に関する意見書 一九〇六年(明治三十九)三月十二日.....	224

132	伝染病感染巡査への救助料金 一九〇〇年(明治三十二)一月十一日.....	198
133	明治三十四年の赤痢病流行記録(抄) 一九〇三年(明治三十六).....	198
134	トラホーム検診の通知 一九〇七年(明治四十)六月二十五日.....	208
135	芸妓の検徴問題 一九一三年(大正二)八月八日.....	209
136	芸妓検診の結果 一九一三年(大正二)九月二十三日.....	211
137	丹羽郡楽田村伝染病予防活動に関する日記(抄) 一九一五一六年(大正四一五).....	211
138	ペスト予防のネズミ退治 一九一六年(大正五年)十一月.....	212
139	水害による御救助米願 一八八五年(明治十八)七月五日.....	215
140	濃尾震災による窮状報告(抄) 一八九一年(明治二十四).....	219
141	濃尾震災見聞記 一八九一年(明治二十四)十一月.....	219
142	五条川井堰復旧工事に関する関係村民の激昂 一八九二年(明治二十五)七月八日.....	221
143	明治用水による流域被害に関する意見書 一九〇六年(明治三十九)三月十二日.....	224
144	二 防災への備え	

立田輪中臨時水利土功会閉会への祝辞	144	天候地気の変動観測報告のこと	146	山林保全のため植栽実施のこと	156
一八八四年(明治十七)九月二十三日	145	一八八五年(明治十八)	147	一八八二年(明治十五)五月五日	157
輪中堤防改修費賦課法の約定	145	一八八五年(明治十八)	147	一八八二年(明治十五)四月	157
市街での出火に遵守すべき事項	148	一八八七年(明治二十)九月三日	148	一八八二年(明治十五)八月十五日	158
一八八四年(明治十七)八月二十二日	149	一八八七年(明治二十)十月二十七日	149	一八八四年(明治十七)三月一日	159
第三節 生活環境の破壊と保全	150	愛知郡熱田町のセメント粉塵問題	150	宝飯郡日色野村熊野大神社境内立木本数取調べ	159
一 愛知郡熱田町のセメント粉塵問題	151	煤煙による豊橋市民の迷惑	151	宝飯郡日色野村熊野大神社枯木伐採願および回答	158
一八九七年(明治三十二)八月二十七日	152	東春日井郡玉野川沿岸染料工場の悪臭問題	152	一八八四年(明治十七)十一月六日	157
一九一六年(大正五)四月二日	153	宝飯郡三谷町への銅選鉱所設置問題	153	一八八四年(明治十七)三月一日	157
一九〇〇年(明治三十三)四月二十五日	154	道路清掃受持ち場所の取調べ	154	社寺境内の伐木取扱規則	158
一八八二年(明治十五)五月十七日	155	国県道路・市街地掃除規則	155	一八八二年(明治十五)四月	156
二 生活環境の保全	156	二 生活環境の保全	156	山林保全のため植栽実施のこと	156
一 犯罪者の世界と周辺	157	一 犯罪者の世界と周辺	157	一八八一年(明治十四)五月五日	157
明治二十年違警罪・諸規則違反処分人数	158	明治二十年違警罪・諸規則違反処分人数	158	一八八一年(明治十四)五月五日	158
明治三十五年違警罪・諸規則違反者の処分内訳	159	明治三十五年違警罪・諸規則違反者の処分内訳	159	一八八一年(明治十四)五月五日	159
博徒の世界の探訪記	160	博徒の世界の探訪記	160	一八八一年(明治十四)五月五日	160
一九〇七年(明治四十六)六月	161	一九〇七年(明治四十六)六月	161	一九〇一年(明治三十四)九月二十三日	162
姦通慰謝料は往昔の四倍	162	姦通慰謝料は往昔の四倍	162	一九〇一年(明治三十四)九月二十三日	162
堕胎手術により死亡	163	堕胎手術により死亡	163	一九〇二年(明治三十五)三月十三日	163
一九〇二年(明治三十五)三月十三日	164	一九〇二年(明治三十五)三月十三日	164	一九〇二年(明治三十五)三月十三日	164
二 防犯への備え	165	二 防犯への備え	165	一九〇二年(明治三十五)三月十三日	165
一八九八年(明治三十)七月八日	166	一八九八年(明治三十)七月八日	166	一九〇二年(明治三十五)三月十三日	166
二 防犯への備え	167	二 防犯への備え	167	一九〇二年(明治三十五)三月十三日	167

168	盜難被害者の心得 一八七七年(明治十)十月五日.....	270
169	巡査志願者心得 一八九三年(明治二十六)十月三日.....	270
170	額田郡下山村賭博禁止内規 一九〇四年(明治三十七).....	272
171	出獄後の状況報告願 一九一六年(大正五)四月六日.....	273
172	私立の諸祠は残らず廢却の事 一八七三年(明治六)三月.....	277
173	神社格式標柱について 一八七四年(明治七)十二月.....	277
174	廃却員外社の据置き願 一八七五年(明治八)二月.....	277
175	津島講社の儀に付き届 一八八五年(明治十八)三月二十四日.....	278
176	神官取締分所の設置案 一八九〇年(明治二十三)九月十三日.....	278
177	津島神社子總代問題の経緯 一八九四年(明治二十七)九月二十八日.....	280
178	熱田神宮境内の露店等禁止通達 一八九四年(明治二十七)十一月二十一日.....	281
179	神宮大麻・曆頒布の件に付き通達 一九〇一年(明治三十四)十二月五日.....	283
180	衆議院議員選挙に付き神職の心得 一九〇二年(明治三十五)四月三十日.....	284
181	海部郡正則村大字二ツ寺の氏子總代規約 一九〇三年(明治三十六)一月.....	284
182	神社合併と取締所(愛知通信) 一九〇六年(明治三十九)十月.....	285
183	神社の性質並びに神饌幣帛料供進に付き神官の意見 一九〇七年(明治四十)十二月七日.....	286
184	神社合併並びに社号の襲用願 一九〇八年(明治四十一)十月十九日.....	287
185	神社中心の説(井上友) 一九〇八年(明治四十一)十二月.....	288
186	真清田神社昇格に就いて 一九一四年(大正三)三月.....	289
187	時局の社寺に及ぼす影響に関する件 一九一四年(大正三)九月一日.....	290
188	熱田神宮奉拝の記(鈴香学人) 一九一四年(大正三)十二月.....	290
189	神社合祀に付き報告書 一九一五年(大正四)五月十二日.....	292
190	神社合祀への批判論(林美峰) 一九一五年(大正四)八月.....	292
191	東海神職大会 一九一六年(大正五)八月.....	293
192	第二節 仏教の近代化と革新運動 禅宗張原寺の年間行事 明治五年(一八七二)三月.....	295
193	帰俗願 一八七三年(明治六)五月.....	296

愛知県下七宗教会講社取り結びの儀に付き願 一八七四年(明治七)十二月八日.....	194	296
仏教徒の協同を訴える(能仁新報社説) 一八九〇年(明治二十三)五月十九日.....	195	299
実語教会及び仏教俱楽部設置の件に付き伺 一八九〇年(明治二十三)七月四日.....	196	300
曹洞宗有志会の運動に就いて 一八九〇年(明治二十三)九月十五日.....	197	301
愛知県下における宗教及び住職と寺院 一八九一年(明治二十四)十月十二日.....	198	302
大浜一揆における菊間藩と本願寺の書簡往復(写) 一八九三年(明治二十六)七月二十四日.....	199	303
第三師団内二為会員宛の大谷派法主現如消息 一八九七年(明治三十)十一月一日.....	200	305
三河仏教同志会の設立 一八九八年(明治三十一)十一月二十三日.....	201	306
宗教法案反対の仏教演説会 一九〇〇年(明治三十三)二月十五日.....	202	307
宗教法案期成同盟会の趣意書・仮規約 一九〇二年(明治三十五)七月十九日.....	203	308
タイ国から贈られた仏骨の奉迎 一九〇二年(明治三十五)十一月十四日.....	204	309
無我苑の信仰生活 安藤現慶 一九〇五年(明治三十八)八月二十五日.....	205	307
第三節 キリスト教・新宗教と「信教の自由」 一 キリスト教 メソジスト教員の西尾布教 一八七七年(明治十)十二月二十一日.....	206	311
伝道者派遣の依頼 一八七八年(明治十一)十月二十五日.....	207	311
名古屋伝道日記 山本秀煌 一八七八年(明治十二)十二月一 一八七九年(明治十二)三月.....	208	311
キリスト教の講説は公許の限りに非ざる事 一八七九年(明治十二).....	209	314
岡崎正教徒の自葬問題 一八八一年(明治十四)二一四月.....	210	314
碧海郡和泉村のキリスト教排斥規約 一八八二年(明治十五)二月二十一日.....	211	319
キリスト教徒の演説会 一八八三年(明治十六)三月三十日.....	212	320
美以教会設立の儀に付き伺 一八九一年(明治二十四)三月一十日.....	213	321
名古屋市キリスト教徒の通信 一八九二年(明治二十五)五月三十日.....	214	322
丹羽郡岩倉町へのキリスト教徒進出 一八九二年(明治二十五)六月二十七日.....	215	323
キリスト教宣教師の配置表 一八九三年(明治二十五)七月.....	216	324
三河新城美以キリスト教会 一八九三年(明治二十六)一月九日.....	217	325
救世軍創始者アーチス大将の来名 一九〇七年(明治四十)五月十五日.....	218	326
金城女学校不敬事件 一九〇八年(明治四十一)六月一日.....	219	327
村松愛蔵氏と語る 一九二〇年(明治四十三)一月一日.....	220	328

二 新宗教

221	神道黒住派小教会所の設置願	一八八二年(明治十五)七月十九日	327
222	扶桑教巡回並びに滞在届	一八八五年(明治十八)三月	328
223	扶桑教布教に付き熱田神宮司より連絡	一八八五年(明治十八)四月二十九日	328
224	丸山教をめぐる情勢	一八九二年(明治二十五)二月二十九日	329
225	天理教会を駁す後藤和門	一八九四年(明治二十七)二月十二日	329
226	天理教布教所の移転願	一九〇一年(明治三十五)五月	331
227	愛知郡川名村旌忠社の入費等に付き願	一八七六年(明治九)六月五日	332
228	西南戦争従軍病死者は靖国神社へ合祀せず	一八八〇年(明治十三)二月五日	332
229	内務省による招魂社費支出	一八八七年(明治二十三)三月二十四日	333
230	第三師団における招魂祭	一八九二年(明治二十五)十一月四日	333
231	戊辰戦争殉職者にして招魂社未合祀者の件	一八九四年(明治二十七)五月十五日	335
232	日清戦争従軍者の葬儀及び碑表建設に関し通達	一八九五年(明治二十八)四月二十五日	335

第四節 国家の祭祀と県民

一 戰没者の慰靈

愛知郡川名村旌忠社の入費等に付き願

一八七六年(明治九)六月五日

西南戦争従軍病死者は靖国神社へ合祀せず

一八八〇年(明治十三)二月五日

内務省による招魂社費支出

一八八七年(明治二十三)三月二十四日

第三師団における招魂祭

一八九二年(明治二十五)十一月四日

戊辰戦争殉職者にして招魂社未合祀者の件

一八九四年(明治二十七)五月十五日

日清戦争従軍者の葬儀及び碑表建設に関し通達

一八九五年(明治二十八)四月二十五日

二 天皇代替わり儀式

233	諒闇と祭礼	一九一三年(大正二)四月一
234	悠紀田主基田の決定	一九一四年(大正三)三月
235	碧海郡六ツ美村の大礼記念事業	一九一四年(大正三)四月
236	悠紀斎田の田植歌	一九一五年(大正四)七月
237	悠紀斎田見張心得	一九一五年(大正四)

三 新宗教

238	真宗大谷派僧侶を教誨師に任命	一八八二年(明治十五)六月九日
239	愛知県名古屋監獄署囚徒教誨規則	一八八二年(明治十五)六月
240	愛知仏教会の貧民救助決算報告	一八九〇年(明治二十三)七月七日
241	濃尾大震災と僧侶	一八九一年(明治二十四)十一月九日
242	天理教員西初太郎の濃尾震災に関する書簡	一八九一年(明治二十四)十一月
243	キリスト教有志による震災孤児院	一八九二年(明治二十五)一月七日
244	愛知慈恵会免囚保護場の入仏式及び竣工式	一九〇八年(明治四十二)五月十日

256	255	254	253	252	251	250	249	248	247	246	245
丹羽郡における民衆信仰の状況 一九〇六年(明治三十九).....	おかげまいり広告 一八九〇年(明治二十三)一月.....	太占の施行願 一八八五年(明治十八)四月十五日.....	火祭講への加盟勧誘 一八八四年(明治十七)頃.....	他行届 一八七九年(明治十二)二月二十七日.....	雨乞い願 一八七七年(明治十)七月二十五日.....	修验宗荒神祭等の守札頒布禁止の事 一八七四年(明治七)四月.....	伊勢参宮等無届他出禁止の事 一八七四年(明治七)四月.....	売卜家相等禁止の事 一八七三年(明治六)一月.....	曹洞宗の工場布教 一九一八年(大正七)六月八日.....	救世軍小隊の貧民窟慰問 一九一五年(大正四)一月一日.....	救世軍員山室軍平の廓清演説 一九一三年(大正二)六月一日.....
354	353	353	352	351	351	350	350	350	348	347	347
二 祭礼											
第六節 民衆の信仰と祭礼	一 民衆の信仰										
碧海郡野田村字神楽山の由緒書 一八七三年(明治六)九月十五日.....	伊勢両宮を遙拝すべき日 一八七三年(明治二十九).....	天長節の彙報 一八九二年(明治二十五)十一月四日.....	大晦日から正月の祭事(東加茂郡足助村大字新町) 一八七三年(明治六).....	259	258	257	256	255	254	253	252
267	266	265	264	263	262	261	260	259	258	257	256
南設楽郡從軍死歿者葬儀概況 一八九四年(明治二十七)十二月十四日.....	東加茂郡各町村恤兵法標準 一八九四年(明治二十七)八月.....	戦死者慰靈等のための祭祀に関する願書 一八七七年(明治十)十一月二十四日.....	壮兵志願者の採用についての同 一八七七年(明治十)四月二十八日.....	第一節 西南戦争	第六章 戦争・軍隊と県民	村の祭礼日統一 一九一八年(大正七)八月九日.....	徳川家康・本多忠勝両公三百年祭 一九一五年(大正四).....	天長節の彙報 一八九二年(明治二十五)十一月四日.....	大晦日から正月の祭事(東加茂郡足助村大字新町) 一八七三年(明治六).....	伊勢両宮を遙拝すべき日 一八七三年(明治二十九).....	天長節の彙報 一八九二年(明治二十五)十一月四日.....
366	365	364	363	361	360	359	358	357	356	355	354

碧海郡刈谷町従軍々人帰郷歓迎会規則 一八九五年(明治二十八)七月一日.....	268
知多郡野間村戦病死者の記念碑建碑願関係文書 一八九七年(明治三十)十一月.....	269
西春日井郡在郷兵員応召当時の概況 一八九八年(明治三十一)五月二十日.....	270
幡豆郡明治二十七八年戦史編纂資料 一九〇〇年(明治三十二).....	271
一九〇〇年(明治三十三).....	371
第三節 日露戦争	
開戦に際しての有力者招集に関する碧海郡通達 一九〇四年(明治三十七)二月二十日.....	272
軍資献納金額 一九〇四年(明治三十七)三月十一日.....	273
碧海郡動員実施景況調査報告 一九〇四年(明治三十七)三月十五日.....	274
ハリストス正教敵視行為の取締りに関する通達 一九〇四年(明治三十七)四月十五日.....	275
海東郡陸海軍大捷祝賀会順序 一九〇四年(明治三十七)九月五日.....	276
時局と岡崎町民(投書) 一九〇四年(明治三十七)九月二十五日.....	277
戦死者遺族への賜金をめぐる紛争防止に関する通達 一九〇四年(明治三十七)十月五日.....	278
戦病死者遺族による酒肴の提供に関する通達 一九〇四年(明治三十七)十月十四日.....	279
碧海郡野田尚武会長の出征兵士への書状(写) 一九〇四年(明治三十七)十二月.....	280
出征軍人家遣族を救済せよ(論説) 一九〇五年(明治三十八)六月十四日.....	281
367	368
368	369
370	371
371	372
379	380
380	381
381	382
382	383
383	384
384	385
385	386
386	387
387	388

戦後の軍人遣家族救護継続に関する北設楽郡通達 一九〇五年(明治三十八)十月五日.....	282
海東郡及び各町村尚武会凱旋軍人歓迎並びに死歿軍人弔慰規程 一九〇五年(明治三十八)十月三十一日.....	283
東加茂郡志賀村臨時招魂祭等関係書類 一九〇六年(明治三十九)四月.....	284
第四節 第一次世界大戦	
日独戦役に関する丹羽郡尚武会の事業案 一九一四年(大正三)十一月.....	285
豊橋凱旋祝賀会と市内の状況 一九一五年(大正四)二月六日.....	286
シベリア出兵開始時の海部郡美和村の対応 一九一八年(大正七)八月.....	287
日々に濃くなり行く名古屋の軍国気分 一九一八年(大正七)八月二十八日.....	288
愛知郡豊明村媾和祝賀会 一九一九年(大正八).....	289
第五節 軍事演習	
明治二十三年陸海軍連合大演習関係碧海郡諸指令 一八九〇年(明治二十三)三月.....	290
伊良湖岬射場と魚漁 一九〇七年(明治四十五)五月三十日.....	291
行軍演習の際軍隊待遇に関する件(写) 一九〇九年(明治四十二)六月二日.....	292
大正二年特別大演習に関する衛生上の注意書 一九一三年(大正二)九月二十日.....	293
389	390
390	391
391	392
392	393
393	394
394	395
395	396
396	397
397	398
398	399
399	400
400	401
401	402
402	403

294	大正二年特別大演習時の小学生による提灯行列	404
295	一九一三年(大正二)十一月十六日	406
第六節 軍事援護団体		
296	幡豆郡徵兵慰労義会規則	409
297	一八八六年(明治十九)七月	406
碧海郡何町(村)尚武会規約標準		
298	一八九八年(明治三十二)二月十日	409
第七節 軍隊に対する県民の意識		
299	甲申政変戦死者の記念碑建設等に付き賛成願(写)	414
300	知多郡民の軍隊に対する意識	414
301	一八八六年(明治十九)十二月	415
第七章 被差別部落と植民地民族		
第一節 被差別部落民の問題		
302	軍隊に対する国民思想に就いて	419
303	一九一五年(大正四)三月	418
第一節 被差別部落と植民地民族		
304	被差別部落の生活(名古屋市)	423
305	区内の部落を別にして戸長役場を設置	422
306	一八八三年(明治十六)五月六日	423
307	一八八六年(明治十九)十一月十六日	422
308	被差別部落の生活(名古屋市)	423
309	白水散史	424
310	一八九三年(明治二十六)七月十六日	424
311	被差別地域卒業生の進路(名古屋市)	424
312	一九〇七年(明治四十)二月十七日	424
313	ある被差別地域民の概況(名古屋市西区)	425
314	一九一二年(明治四十五)二月二十八日	425
第二節 部落改善事業の展開		
315	二 差別問題の論調	426
316	被差別民衆への同情論	426
317	一九〇一年(明治三十四)三月一―十三日	426
318	自力で差別の打開を(論説)	427
319	一九〇七年(明治四十)八月二十七日	427
320	当局は貧民を救済せよ(論説)	427
321	一九一二年(明治四十五)五月三十日	428
322	部落差別撤廃論(茅原華山)	428
323	一九一八年(大正七)九月三日	430
職業の制限撤廃に関する通達		
324	明治五年(一八七二)五月	430

303	入学・徵兵差別抗議の訴え(知多郡成岩村)	421
304	一八七四年(明治七)三月七日	421
305	成績抜群の生徒	422
306	村役場筆工の排斥問題	423
307	一八八八年(明治二十一)七月四日	423
308	村収入役選出のやり直し	423
309	一八九〇年(明治二十三)二月二十三日	423
310	被差別部落の生活(名古屋市)	424
311	白水散史	424
312	一八九三年(明治二十六)七月十六日	424
313	被差別地域卒業生の進路(名古屋市)	424
314	一九〇七年(明治四十)二月十七日	424
315	ある被差別地域民の概況(名古屋市西区)	425
316	一九一二年(明治四十五)二月二十八日	425
317	二 差別問題の論調	426
318	被差別民衆への同情論	426
319	一九〇一年(明治三十四)三月一―十三日	426
320	自力で差別の打開を(論説)	427
321	一九〇七年(明治四十)八月二十七日	427
322	当局は貧民を救済せよ(論説)	427
323	一九一二年(明治四十五)五月三十日	428
324	部落差別撤廃論(茅原華山)	428
325	一九一八年(大正七)九月三日	430
第二節 部落改善事業の展開		
326	二 差別問題の論調	426
327	被差別民衆への同情論	426
328	一九〇一年(明治三十四)三月一―十三日	426
329	自力で差別の打開を(論説)	427
330	一九〇七年(明治四十)八月二十七日	427
331	当局は貧民を救済せよ(論説)	427
332	一九一二年(明治四十五)五月三十日	428
333	部落差別撤廃論(茅原華山)	428
334	一九一八年(大正七)九月三日	430
職業の制限撤廃に関する通達		
335	明治五年(一八七二)五月	430

+

315	津島署長と青年会（海東郡甚目寺村）	一九〇九年（明治四十二）十月二十五日	432
316	部落差別改善意見の伝達	一九一三年（大正二）一月二十四日	432
317	西尾署々員の改善指導（幡豆郡西尾町）	一九一三年（大正二）四月二十五日	432
318	松井茂知事の貧困地域対策談	一九一三年（大正二）七月二十八日	433
319	署長会議の改善策討議	一九一四年（大正三）七月四日	433
320	名古屋市熱田署と益友会	一九一五年（大正四）七月二十九日	434
321	部落の環境改善策	一九一八年（大正七）七月	435
441	二 部落内外からの改善事業		
441	夜学を開校（名古屋市）	一九〇七年（明治四十四）五月二十七日	436
440	宗教家の改善事業（名古屋市中区）	一九一二年（明治四十五）二月三日	437
440	海東郡甚目寺村の屠場	一九一五年（大正四）五月四日	438
324	西春日井郡枇杷島町有力者の教育事業	一九〇九年（明治四十二）四月十一日	439
325	知多郡成岩町に届いた帝国公道会の入会勧誘状	一九一四年（大正三）九月	437
326	帝国公道会の講演会（知多郡成岩町）	一九一四年（大正三）十二月十三日	437
327	帝国公道会と改善規約（知多郡成岩町）	一九一五年（大正四）三月十四日	437

+

329	職業紹介事業の開始（名古屋市中区）	一九一六年（大正五）三月十七日	442
330	少年団の設立（名古屋市中区）	一九一六年（大正五）五月六日	443
331	南設楽郡千郷村の改善事業	一九一一年（明治四十四）七月十八日	444
332	青年会の養魚場設立（西春日井郡枇杷島町）	一九一五年（大正四）一月三十一日	444
333	洋傘修繕組合の結成（名古屋市西区）	一九一五年（大正四）五月二十九日	445
334	青年の自覚すすむ（名古屋市西区）	一九一六年（大正五）六月十六日	445
335	米騒動への対応（名古屋市中区）	一九一八年（大正七）八月十八日	446
336	第三節 民族差別の問題		
338	台湾先住民の名古屋觀光	一九一一年（明治四十四）八月二十七日	447
337	台湾先住民の教化（論説）	一九一二年（明治四十五）五月十二日	447
448	台湾女性の流転	一九一六年（大正五）二月二十三日	447
449	二 朝鮮人		

+

348	345	344	343	342	341	340	339
朝鮮妓生名古屋に 一九一〇年(明治四十三)十二月十七日	朝鮮飴売の當業禁止 一九一七年(大正六)五月二十日	朝鮮人の事業活動 一九一八年(大正七)十月十三日	三重紡績朝鮮人工女の採用開始 一九一二年(明治四十五)四月二十一日	朝鮮人工女問題 一九一七年(大正六)七月一九月	朝鮮飴売の當業禁止 一九一七年(大正六)五月二十日	朝鮮妓生名古屋に 一九一〇年(明治四十三)十二月十七日	併合前の朝鮮人出稼ぎ 一九〇七年(明治四十)九月十三日
窮民救助の原則 一八七六年(明治九)十二月十九日 一八七七年(明治十)二月八日	第八章 社会事業の模索 第一節 県民救済の方向	朝鮮人とアイルランド問題 桐生悠々 一九一六年(大正五)一月十八日	在日朝鮮人の訴え 韓世復 一九一八年(大正七)十二月九日	朝鮮人の教育を平等に 韓世復 一九一八年(大正七)十二月二十六日	朝鮮人とアイルランド問題 桐生悠々 一九一六年(大正五)一月十八日	在日朝鮮人の訴え 韓世復 一九一八年(大正七)十二月九日	朝鮮人の教育を平等に 韓世復 一九一八年(大正七)十二月二十六日
461	454	453	452	451	451	450	449
救助 (丹羽郡農田村事務報告(抄) 一八九五年(明治二十八)三月十八日)	救助者精査を命ずる内務部長通知 一八九五年(明治二十八)四月二十五日	傷病兵の煙草小売業申請希望照会 一九〇六年(明治三十九)三月二十四日	救助員及び金員表(明治十八~二十七年) 一八九五年(明治二十八)三月十八日	応召者家族への支援要請 一九〇四年(明治三十七)二月五日	救助 (丹羽郡農田村事務報告(抄) 一八九五年(明治二十八)三月十八日)	救助員及び金員表(明治十八~二十七年) 一八九五年(明治二十八)三月十八日	救助 (丹羽郡農田村事務報告(抄) 一八九五年(明治二十八)三月十八日)
362	361	360	359	358	357	356	349
愛知育児院の運営方針 一九〇五年(明治三十八) 明治期の入退院兒 一九八八年(昭和六十三) 愛知育児院経営状況 一九一七年(大正六)	第二節 草創期の愛知育児院 一九一八年(大正七)十二月三十一日	養育費補助願 一八九九年(明治三十二)一月	名古屋市育児教護費交付条件 一八九九年(明治三十二)八月二十四日	愛知育児院設立願 一八八六年(明治十九)	愛知育児院設立の主意 一八八六年(明治十九)	第二節 草創期の愛知育児院 一九一八年(大正七)十二月三十一日	愛知育児院設立の主意 一八八六年(明治十九)
483	477	474	474	472	472	469	461

第三節 社会事業家

貧民救助

一九〇三年(明治三十六)四月一日.....

486

森井清八履歴書(抄)

一九〇四年(明治三十七)二月一日.....

487

救済事業二十年

一九一六年(大正五)四月五日.....

492

救済されたる私と救済せんとする私(抄)

一九一六年(大正五)八月.....

493

衣ヶ浦療病院の美粧

一九〇〇年(明治三十三)六月二十六日.....

498

西区幼稚園(一九〇八年開設)

一九二五年(大正十四)十月.....

498

帝国救助院

一九一一年(明治四十四)七月十七日.....

498

桜花義会の救済事業

一九一二年(明治四十五)二月十一日.....

498

財団法人岡崎無料宿泊所(一九一六年開設)

一九二五年(大正十四)十月.....

501

東別院に開始した児童の保育所

一九一八年(大正七)十月二十六日.....

501

第五節 救済資金

寄附米依頼 愛知育児院

一九〇五年(明治三十八)十一月.....

503

貧民千五百名施米

教育事業

一九一〇年(明治四十三)一月八日.....

504

貧童救助の托鉢

一九二二年(明治四十五)七月八日.....

505

慈善救済事業に一万元

一九一三年(大正二)九月一十三日.....

505

大喪に際し慈惠救済資金下賜

一九一四年(大正三)五月二十九日.....

506

包圍された盛装婦人

一九一五年(大正四)十一月七日.....

506

花の日会の成績

一九一五年(大正四)十一月十日.....

507

大礼に際し賑恤資金下賜

一九一五年(大正四)十一月十一日.....

507

高女の貧民施米

一九一六年(大正五)七月三日.....

507

桜楓会の寄附

一九一七年(大正六)四月二十六日.....

508

軍人遺族はどんな生活

一九一七年(大正六)七月十一日.....

508

同情者各位に告ぐ

一九一八年(大正七)三月一十日.....

509

394	393	392	391	390	389	388	387	386	386	396	395	396	395	
人買い会社 濃尾地震で人買い 一八九一年(明治二十四)十一月十日	一八九〇年(明治二十三)三月十一日	一八八九年(明治二十二)六月 駆梅院落成に県知事挨拶 一八八七年(明治二十)十二月三日 豊橋・岡崎駆梅院の患者数 一八八八年(明治二十二)一月二十日	華麗なる廓の楼閣 一八八七年(明治二十)五月二十八日 駆梅院落成に県知事挨拶 一九〇八年(明治四十二)八月十五日 豊橋遊廓の孝行娼妓 一九一五年(大正四)二月二十七日	廊の灯 一八八七年(明治二十)五月二十八日 駆梅院落成に県知事挨拶 一九〇八年(明治四十二)八月十四日 娼妓玉勇の計算通帳 一九一四年(大正三)五月一日	遊廓の公認と規定 一八七四年(明治七)十月 娼妓及び席賃茶屋規則の改正 一八八一年(明治十四)六月十三日 一九〇〇年(明治三十三)十一月十四日									
526	526	525	525	523	523	519	515	513	513	527	526	527	526	
404	403	402	401	401	401	400	399	398	397	404	403	402	401	
媚妓の脱楼ひんぴん 一八八八年(明治二十二)一月二十日	媚妓玉勇の計算通帳 一九一四年(大正三)五月一日	旭廓娼妓玉勇の契約証書 一九一四年(大正三)五月一日	娼妓の収支と生活 一九〇八年(明治四十二)八月十四日	娼妓の拘束 一九〇八年(明治四十二)八月十五日	娼妓五名ほめやんじょう 一八八二年(明治十五)十月二十二日	豊橋遊廓と娼妓の反発 一八九一年(明治二十四)一月二十九日	豊橋遊廓と娼妓の反発 一八九一年(明治二十四)一月二十九日	豊橋遊廓と娼妓の反発 一八九一年(明治二十四)一月二十九日	豊橋遊廓と娼妓の反発 一八九一年(明治二十四)一月二十九日	外地の「醜業婦」 一九〇一年(明治三十四)十月二十九日	外地の「醜業婦」 一九〇一年(明治三十四)十月二十九日	外地の「醜業婦」 一九〇一年(明治三十四)十月二十九日	熱田の口入業者近在水害地の娘賣い 一八九六年(明治二十九)十月四日	
538	535	532	531	530	529	528	527	526	526	538	535	532	531	
第一節 公娼制の復活	第二節 遊廓と娼妓	第三節 妨妓の経済生活	第一廊の構成	第二廊の構成	第三廊の構成	第一節 妨妓の環境	第二節 妨妓の環境	第三節 妨妓の環境	第一節 妨妓の環境	第二節 妨妓の環境	第三節 妨妓の環境	第一節 妨妓の環境	第二節 妨妓の環境	

405	脱楼の流行	一八八二年(明治十五)十一月十一日.....	538
406	熱田遊廓の娼妓脱楼	一八九一年(明治二十四)三月十八日.....	539
407	娼妓の脱楼廃業手続に处罚	一八九八年(明治三十)五月二十八日.....	539
408	豊橋遊廓の逃亡娼妓	一八九九年(明治三十二)三月十七日.....	540
409	脱楼娼妓と「小六自由廃業事件」	一八九九年(明治三十二)十二月十七日.....	540
410	岡崎の娼妓脱楼	一九〇〇年(明治三十三)三月二十三日.....	540
411	豊橋の娼妓脱楼自殺志願	一九〇〇年(明治三十三)十月二十日.....	540
412	娼妓脱楼四件の告発	一九〇二年(明治三十五)二月十八日.....	541
413	自由廃業希望の脱楼娼妓自首	一九〇五年(明治三十八)十月五日.....	541
414	脱楼後紡績女工となつた娼妓	一九〇八年(明治四十一)六月二十五日.....	542
415	愛知廢娼会の設立	一八八九年(明治二十二)十一月十七日.....	542
416	廢娼会の廢娼演説会	一八八九年(明治二十二)十一月二十四日.....	543
417	県会議長宛廢娼建議書	一八九〇年(明治二十三)二月八日.....	543
418	愛知婦人会の廢娼意見書	一八九〇年(明治二十三)二月八日.....	543
420	名古屋の婦人会廢娼建議	一八九〇年(明治二十三)十一月三日.....	546
421	豊橋廢娼論者の廢娼建議	一八九〇年(明治二十四)十一月十六日.....	546
422	愛知基督教青年同盟会の廢娼演説会	一八九〇年(明治二十四)十一月二十日.....	547
423	名古屋で婦人矯風会結成	一八九三年(明治二十六)六月四日.....	547
424	救世軍の活動と名古屋	一九一一年(明治四十四)六月十九日.....	547
425	廓清会名古屋へ	一九一三年(大正二)四月十八日.....	548
426	存娼主義者の結集	一八九〇年(明治二十三)十二月二十日.....	549
427	存娼派の全国的結集	一八九一年(明治二十四)一月二十四日.....	549
428	県会内の公娼支持運動	一八九三年(明治二十六)十二月十六日.....	549
429	遊廓増設建議の成立	一八九七年(明治三十)十一月二十五日.....	549
430	新遊廓設置希望地域	一八九七年(明治三十)十二月十九日.....	549
431	四遊廓の娼妓自由廃業(以下自廢)対策	一九〇〇年(明治三十三)九月十四日.....	550
432	娼妓自廢運動に対する遊廓側の対策	一九〇〇年(明治三十三)九月二十八日.....	550

433	娼妓自廃に関する内務省見解	
	一九〇〇年(明治三十三)八月十八日.....	551
434	娼妓自廃妨害樓主に対する官憲取締り	
	一九〇〇年(明治三十三)十月三十一日.....	552
435	県会議員補欠選挙に遊廓樓主最高点当選	
	一九〇六年(明治三十九)六月六日.....	552
436	名古屋の娼妓名山の自廃訴訟	
	一八九一年(明治二十四)四月五日.....	553
437	娼妓浦琴の自廃訴訟	
	一八九二年(明治二十五)五月二十一日.....	554
438	U・G・モルフィの自廃運動始動	
	一八九九年(明治三十二)十月十九日.....	554
439	モルフィの動静	
	一九〇〇年(明治三十三)一月二十三日.....	554
440	モルフィと娼妓小六自廃訴訟事件	
	一八九九年(明治三十二)十一―十二月.....	555
441	モルフィと娼妓小六自廃訴訟事件余聞	
	一九〇〇年(明治三十三)三月三十一日.....	556
442	娼助会員の助力で熱田の娼妓自廃	
	一九〇〇年(明治三十三)十月二十八日.....	556
443	先駆者モルフィの身辺	
	一九〇一年(明治三十四)六月十二日.....	557
444	モルフィの受難	
	一九〇二年(明治三十五)九月十六日.....	558
445	知多半島キリスト教伝道	
	一九〇〇年(明治三十三)六・七月.....	559
446	豊橋遊廓娼妓の自廃運動	
	一九〇〇年(明治三十三)九―十一月.....	559

447	岡崎の娼妓自廃	
	一九〇〇年(明治三十三)十月七日.....	561
448	名古屋関係娼妓の自廃状況	
	一九〇一年(明治三十四)三月.....	562
449	自廃が認められ豊橋娼妓減少	
	一九〇二年(明治三十五)一月二十一日.....	563
450	大審院判決で遊廓側貸金権存在	
	一九〇二年(明治三十五)三月五日.....	564
451	名古屋での娼妓自廃再興か	
	一九一三年(大正二)四月十二日.....	564
452	第二章 兵士・民衆の軍事への異議	
	第一節 軍隊社会の諸問題	
	新兵の虐待問題	
	下士官の暴行	
453	入営者の経済負担	
	一九〇〇年(明治三十三)五月十五日.....	565
454	兵營内のいじめ	
	一九〇一年(明治三十六)五月一日.....	566
455	兵營生活の規律	
	一九〇二年(明治三十七)九月十四日.....	567
456	過酷な訓練と教育	
	一九一一年(明治四十四)十二月九日.....	568
457	兵營内の冤罪	
	一九一五年(大正四)六月十八日.....	569
458	兵營内	

459	兵営内の犯罪 一九一八年(大正七)六月二十八日.....	571
460	十四年間逃亡中 一九一二年(明治四十五)四月二十三日.....	573
460	徴兵逃れを郡長に依頼 一九〇六年(明治三十九)五月二十六日.....	573
460	学校や寄留の利用 一九一二年(明治四十五)五月一日.....	574
462	身体の自傷による徴兵逃れ 一九一二年(明治四十五)五月十九日.....	574
463	名古屋第三師団管下の徴兵忌避者一千余名 一九一六年(大正五)八月四日.....	574
464	豊橋第十五師団管下の忌避者らに七十七名 一九一六年(大正五)十二月十六日.....	575
465	名古屋連隊区の違反者数 一九一八年(大正七).....	576
466	逃亡者の捜査報告 一九一八年(大正七)三・四月.....	577
467	二 召集忌避 台湾派遣を苦に自殺か 一九〇一年(明治三十四)九月十二日.....	578
468	仮病による召集逃れの調査報告 一九〇四年(明治三十七)十二月十五日.....	579
469	戦地への動員を忌避 一九〇五年(明治三十八)一月二十七日.....	580

470	入営を嫌つて逃亡 一九〇七年(明治四十)六月二十七日.....	581
471	入営前夜に自殺未遂 一九一二年(大正元)十二月一日.....	581
472	点呼に不参 一九一四年(大正三)九月十七日.....	582
473	教育召集を苦に自殺か 一九一六年(大正五)七月九日.....	582
474	三 逃亡と自殺 戸籍を偽造した逃亡兵 一九〇五年(明治三十八)五月十二日.....	583
475	逃亡水兵と社会主義者 一九一〇年(明治四十三)九月十七日.....	583
476	脱営四回、逃亡三年半 一九〇三年(明治三十六)五月十三日.....	583
477	帰営のおくれを苦に逃亡 一九〇八年(明治四十二)十二月二十四日.....	585
478	練兵訓練を苦に自殺か 一九一〇年(明治四十三)一月二十七日.....	585
479	名古屋第三師団兵士の自殺問題 一九一〇年(明治四十三)五月.....	586
480	過失を苦に脱営して自殺か 一九一二年(大正元)十一月十九日.....	586
481	貧困を苦に自殺か 一九一五年(大正四)六月二十四日.....	588
482	冤罪を嘆き自殺か 一九一五年(大正四)七月二十二日.....	588
483	名古屋第三師団の脱営兵と憲兵隊 一九一八年(大正七)五月四日.....	589
484	十	590

486	485	シベリア出兵時の逃亡	一九一八年(大正七)九月二十七日.....	591	591
486	シベリア出兵時の自殺	一九一八年(大正七)十月二十五日.....	591		
第三節	軍・戦争への異議と批判				
一	軍隊批判と非協力				
487	守山連隊(名古屋師団)の行状	一八九七年(明治三十二)四月九日.....	593	593	
488	台湾派遣軍の真偽を批判(論説)	一八九九年(明治三十二)五月二十一日.....	594		
489	千人針の起りと取締り	一九〇四年(明治三十七)六月十一日.....	594		
490	出征兵士の上官批判(投書)	一九〇四年(明治三十七)十二月四日.....	595		
491	軍の演習に非協力(知多郡龜崎町)	一九〇九年(明治四十二)六月二十五日.....	596		
492	下士官の横暴(投書)	一九一五年(大正四)七月十日.....	596		
493	上官の暴行に抗議(豊橋連隊)	一九一六年(大正五)八月一日.....	596		
494	絶対服従の軍律批判(投書)	一九一八年(大正七)六月十七日.....	597		
二	軍拡・戦争批判論				
495	軍備拡大慎重論(論説)	鬼頭杏西			
496	軍備拡大反対論(論説)	鈴木春			
一九〇三年(明治三十六)九月.....					

500	497	戦争は殺人の風潮を助長(論説)	一九〇七年(明治四十)八月二十一日.....	601	601
500	498	太田三次郎の軍改革講演会	一九一一年(明治四十四)八月七日.....	603	603
500	499	ジョルダン博士の平和講演会	一九二一年(明治四十四)九月二十一日.....	603	603
第一節	農村の変貌				
501	第一節 農村の変貌				
501	県下各郡の貧民増加	一八八五年(明治十八)八月二日.....	607		
502	海東郡の農況と出稼ぎの増加	一八九六年(明治二十九)十一月十八日.....	607		
503	憐れむべき小作人(論説)	一九〇三年(明治三十六)二月.....	608		
504	名古屋周辺の農作人減少	一九一〇年(明治四十三)九月十六日.....	611		
505	小作人窮乏論(論説)	一九一一年(明治四十四)三月十七日.....	612		
506	農民の窮乏と社会政策の必要	一九一一年(明治四十四)三月二十九日.....	613		
507	過渡期の農業(論説)	一九二一年(明治四十四)七月十一日.....	614		

508 小作者保護奨励についての通牒
一九一二年(明治四十五).....

二 出稼ぎ・移住

509 東春日井郡の出稼人が北海道へ出発
一八九三年(明治二十六)四月六日.....
510 愛知県からの北海道移住者
一九〇五年(明治三十八)二月二十八日.....
511 メキシコ移民の状況
一九〇七年(明治四十二)二月二十八日.....
512 最近の北海道移住状況
一九〇八年(明治四十一)一月七日.....
513 税金苦と新大陸への移民(論説)
一九〇八年(明治四十一)一月十二日.....
514 ベル一移民応募状況
一九〇八年(明治四十一)十月十三日.....
515 愛知と近県の北海道移住状況
一九一二年(明治四十五)四月二十日.....

三 地主・篤農家

516 中島郡の大地主集会
一八九〇年(明治二十三)十月十四日.....
517 渥美郡で篤農家の集会
一八九三年(明治二十六)三月二十三日.....
518 県農会各郡市に地主会設立を決定
一九〇六年(明治三十九)九月十二日.....
519 愛知県内地主の農業施設事例
一九一六年(大正五)六月.....

第二節 小作紛争

一 明治前期

520 西春日井郡大蒲新田の綻米更改問題
一八八一年(明治十四)二月十日.....
521 愛知郡瑞穂村の小作人ごねる
一八八五年(明治十八)六月十八日.....
522 愛知郡日置村の綻米紛争
一八九〇年(明治二十三)一月十一日.....
523 東西春日井郡内の綻米紛争
一八九〇年(明治二十三)一月十日.....
524 東春日井郡田楽村の綻米紛争
一八九〇年(明治二十三)一月十八日.....
525 海西郡飛島村の小作争議
一八九〇年(明治二十三)三月八日.....
526 海西郡飛島新田の小作争議
一八九〇年(明治二十三)十二月一.....
527 渥美郡大崎村鶴ヶ崎新田の小作争議
一八九一年(明治二十四)一月一.....
528 愛知郡豊明村沓掛新田の小作争議
一八九一年(明治二十四)五月.....

二 明治中期

529 海西郡十四山村六条新田の小作争議
一八九七年(明治三十二)一一月.....
621 620 620 620 619 618 617 617 616 615 614

+

531	海東郡萱津村の小作争議 一八九九年(明治三十二)十一月	637
532	海西郡大藤村森津の小作争議 一八九九年(明治三十二)十一月一	
533	西加茂郡殿貝津村の小作争議 一九〇〇年(明治三十三)五月	
534	愛知郡豊明村沓掛村の小作争議 一九〇〇年(明治三十三)六月二十二日	
535	知多郡有松町の搾米紛争 一九〇一年(明治三十四)五月四日	
536	海西郡両国村三好新田の小作争議 一九〇一年(明治三十四)十二月一	
537	愛知郡豊明・沓掛その他各村の小作争議 一九〇三年(明治三十六)四月二十二日	
538	中島郡大徳村五城の小作争議 一九〇三年(明治三十六)六一七月	
539	海東・海西郡内各村の小作争議状況 一九〇四年(明治三十七)十二月二十八日	
540	海西郡弥富町前ヶ須の小作争議 一九〇五年(明治三十八)一月十九日	
541	海西郡十四山村六条新田の小作争議 一九〇五年(明治三十八)一月十一日	
542	名古屋市編入の小碓村民鉄先権等で市に陳情 一九〇七年(明治四十)七月二十一日	
543	海西郡神守村百町小作紛争 一九〇九年(明治四十一)一月十三日	

三 明治後期～大正前期

544	名古屋市熱田前新田の小作争議 一九一二年(大正元)十一月十六日	645
545	碧海郡旭村の小作争議 一九一二年(大正元)十一月二十三日	
546	東加茂郡旭村の小作争議 一九一二年(大正元)十二月十九日	
547	愛知郡荒子村の小作人が検査に不満で県庁へ 一九一四年(大正三)一月十五日	
548	東春日井郡味岡村の小作人騒動 一九一四年(大正三)七月一日	
549	南設楽郡新城町の小作争議 一九一七年(大正六)三月十六日	
550	宝飯郡御津村新田の小作権紛争 一九一七年(大正六)九月十八日	
551	知多郡半田町の小作争議 一九一八年(大正七)一月十一日	
552	東春日井郡小牧町の小作争議 一九一八年(大正七)一月十九日	
553	愛知郡明徳村小作人の「無高農民社」 一八九三年(明治二十六)一月十九日	
554	二 大正前期の小作人・地主の組織 大正前期の小作人・地主の組合状況 一九二六年(大正十五)頃	
644	644	644
645	645	645
646	646	646
647	647	647
648	648	648
649	649	649
650	650	650
651	651	651

第三節 小作人と地主の組合結成

一 初期の小作人組織

愛知郡明徳村小作人の「無高農民社」
一八九三年(明治二十六)一月十九日

二 大正前期の小作人・地主の組織

大正前期の小作人・地主の組合状況
一九二六年(大正十五)頃

+

588	587	586	585	584	583	582	581	580	579	578	577
知多郡亀崎鉄工場争議（投書） 一九〇一年（明治三十四）二月十四日……	渥美郡某村小学校教員のストライキ 一八九二年（明治二十五）九月二十日……	知多郡半田町製糸工女のストライキ 一八九六年（明治二十九）一月八日……	東春日井郡陶器荷造職人のストライキ 一九一四年（大正三）七月十四日……	名古屋市内染色職工のストライキ計画 一九〇〇年（明治三十三）七月二十五日……	八名郡富岡郵便局集配人のストライキ 一八九三年（明治二十六）九月九日……	名古屋市内木挽職組合の賃上げ要求 一九〇三年（明治三十六）一月九日……	知多郡衣浦の木挽職質下げ反対ストライキ 一九〇一年（明治三十四）六月七日……	名古屋市内木挽職組合の賃上げ要求 一九〇三年（明治三十六）一月九日……	八名郡富岡郵便局集配人のストライキ 一八九三年（明治二十六）九月九日……	工場取締規則につき一宮警察署の訓示 一九〇四年（明治三十七）一月十七日……	工場及び寄宿舎取締規則（愛知県・四月二十三日） 一九〇〇年（明治三十三）四月二十五日……
679	679	678	678	677	677	676	675	674	674	671	679
602	601	600	599	598	597	596	595	594	593	592	591
日露戦争後の各郡報告にみる組合関係記事 一九〇六年（明治三十九）……	インフレ下の労働争議 一九一七年（大正六）七月二十一日……	愛知病院外科助手の連帯辞職問題 一九一七年（大正六）五月五日……	瀬戸陶業界の労使問題 一九一四年（大正三）七月九日……	愛知電鉄争議の結末 一九一二年（大正元）十一月二十七日……	名古屋市外日本陶器の労働争議 一九一四年（大正三）十二月一日……	東春日井郡瀬戸町の陶工争議 一九一二年（明治四十五）五月二十日……	名古屋電鉄で乗務員のストライキ 一九〇九年（明治四十二）八月……	名古屋市熱田兵器廠木工部のストライキ 一九〇八年（明治四十二）十月十九日……	名古屋煙草製造局職工のストライキ 一九〇八年（明治四十二）七月二十八日……	名古屋市豊田式織機工場のストライキ 一九〇六年（明治三十九）二月十六日……	名古屋市内の博多織工賃上げ争議 一九〇五年（明治三十八）十二月七日……
第三節 労働者の組合組織	第二節 労働争議	一 工場労働者・職員の争議	二 工場労働者・職員の争議	二 工場労働者・職員の争議	二 工場労働者・職員の争議	二 工場労働者・職員の争議	二 工場労働者・職員の争議	二 工場労働者・職員の争議	二 工場労働者・職員の争議	二 工場労働者・職員の争議	二 工場労働者・職員の争議
590	591	592	593	594	595	596	597	598	599	600	601
東春日井郡瀬戸町の陶工賃上げ要求 一九〇六年（明治三十九）……	名古屋市内の博多織工賃上げ争議 一九〇五年（明治三十八）……	名古屋市豊田式織機工場のストライキ 一九〇六年（明治三十九）……	名古屋煙草製造局職工のストライキ 一九〇八年（明治四十二）……	名古屋市熱田兵器廠木工部のストライキ 一九〇八年（明治四十二）……	名古屋電鉄で乗務員のストライキ 一九〇九年（明治四十二）……	名古屋市瀬戸町の陶工争議 一九一二年（明治四十五）……	愛知電鉄争議の結末 一九一二年（大正元）……	瀬戸陶業界の労使問題 一九一四年（大正三）……	愛知病院外科助手の連帯辞職問題 一九一七年（大正六）……	インフレ下の労働争議 一九一七年（大正六）……	知多郡半田町製糸工女のストライキ 一八九三年（明治二十六）……
680	681	682	683	684	685	686	687	688	689	690	691
680	681	682	683	684	685	686	687	688	689	690	691

614	613	612	611	611	610	609	608	607	606	605	604	603	
名古屋市内扇骨職人の独立組合 一八九二年(明治二十五)二月十三日	名古屋市内活版職工の組合組織 一八九一年(明治二十四)八月二十六日	額田郡岡崎町活版職工の動静 一八九四年(明治二十七)六月十五日	名古屋活版職工の動静 一九〇一年(明治三十四)二月十三日	葉栗郡浅井町の労働者懇親会 一九〇二年(明治三十五)三月三十日	日本陶器画工部職工の共和会結成 一九〇八年(明治四十一)九月十七日	名古屋における友愛会四支部名と所在地 一九一六年(大正五)十二月一 一九一八年(大正七)七月	名古屋における労働問題講演会 一九一〇年(明治四十三)九月十九日	農商務省工場法案策定中 一九〇一年(明治三十四)四月二十一日	工場法案に対する名古屋市業界の反応 一九〇二年(明治三十五)十一—十二月	工場法案の急務 一九〇〇年(明治三十三)一月二十六日	労使関係の調和を論ず(論説) 一九〇二年(明治三十五)十一月	労使関係の調和を論ず(論説) 一九〇五年(明治三十八)九月	
『労働世界』の新刊紹介 一八九七年(明治三十)七月三十日	労働者の保護規則制定の急務 一八九六年(明治二十九)七月	労働者の保護を論ず(論説) 一八九六年(明治二十九)七月	労働者保護論と工場法 第四節 労働者保護論と工場法	『労働世界』の新刊紹介 一八九七年(明治三十)七月三十日	労働者保護法設定の急務 一九〇八年(明治四十一)九月十七日	名古屋における友愛会四支部名と所在地 一九一六年(大正五)十二月一 一九一八年(大正七)七月	『新愛知』の工場法必要論(論説) 一九〇九年(明治四十二)十一月十七日	県会議事堂における労働問題講演会 一九一〇年(明治四十三)二月三日	農商務省工場法案策定中 一九〇一年(明治三十四)四月二十一日	工場法案に対する名古屋市業界の反応 一九〇二年(明治三十五)十一—十二月	工場法案の急務 一九〇〇年(明治三十三)一月二十六日	労使関係の調和を論ず(論説) 一九〇二年(明治三十五)十一月	労使関係の調和を論ず(論説) 一九〇五年(明治三十八)九月
労働保険制度の必要性について(論説) 一九〇〇年(明治三十三)二月一日	労働保険制度の必要性について(論説) 一九〇〇年(明治三十三)二月一日	労働者保護論と工場法 第四節 労働者保護論と工場法	労働者保護論と工場法 第四節 労働者保護論と工場法	労働者保護論と工場法 第四節 労働者保護論と工場法	労働者保護論と工場法 第四節 労働者保護論と工場法	労働者保護論と工場法 第四節 労働者保護論と工場法	労働者保護論と工場法 第四節 労働者保護論と工場法	労働者保護論と工場法 第四節 労働者保護論と工場法	労働者保護論と工場法 第四節 労働者保護論と工場法	労働者保護論と工場法 第四節 労働者保護論と工場法	労働者保護論と工場法 第四節 労働者保護論と工場法	労働者保護論と工場法 第四節 労働者保護論と工場法	
699	699	698	696	695	694	693	693	692	692	692	692	692	
625	624	623	623	622	621	620	619	618	617	616	615	615	
第一節 愛知の初期社会主義運動 第五章 初期社会主義と大逆事件	第一節 愛知の初期社会主義運動 第五章 初期社会主義と大逆事件	第一節 愛知の初期社会主義運動 第五章 初期社会主義と大逆事件	第一節 愛知の初期社会主義運動 第五章 初期社会主義と大逆事件	名古屋商業會議所の対工場法案意見集約 一九一〇年(明治四十三)十一月十三日	『新愛知』の工場法必要論(論説) 一九〇九年(明治四十二)十一月十七日	名古屋商業會議所の対工場法案意見集約 一九一〇年(明治四十三)十一月十三日	『新愛知』の工場法必要論(論説) 一九〇九年(明治四十二)十一月十七日	県会議事堂における労働問題講演会 一九一〇年(明治四十三)二月三日	工場法案に対する名古屋市業界の反応 一九〇二年(明治三十五)十一—十二月	工場法案に対する名古屋市業界の反応 一九〇二年(明治三十五)十一—十二月	工場法案の急務 一九〇〇年(明治三十三)一月二十六日	労使関係の調和を論ず(論説) 一九〇二年(明治三十五)十一月	労使関係の調和を論ず(論説) 一九〇五年(明治三十八)九月
社会主義者茶話会 一九〇四年(明治三十七)二月一日	大杉栄のビラまき(名古屋) 一九〇四年(明治三十七)七月十七日	平民新聞講読協会設立(名古屋) 一九〇四年(明治三十七)五月二十二日	大杉栄のビラまき(名古屋) 一九〇四年(明治三十七)七月十七日	大杉栄のビラまき(名古屋) 一九〇四年(明治三十七)七月十七日	大杉栄のビラまき(名古屋) 一九〇四年(明治三十七)七月十七日	大杉栄のビラまき(名古屋) 一九〇四年(明治三十七)七月十七日	大杉栄のビラまき(名古屋) 一九〇四年(明治三十七)七月十七日	大杉栄のビラまき(名古屋) 一九〇四年(明治三十七)七月十七日	大杉栄のビラまき(名古屋) 一九〇四年(明治三十七)七月十七日	大杉栄のビラまき(名古屋) 一九〇四年(明治三十七)七月十七日	大杉栄のビラまき(名古屋) 一九〇四年(明治三十七)七月十七日	大杉栄のビラまき(名古屋) 一九〇四年(明治三十七)七月十七日	
8	717	717	717	716	715	713	709	708	707	703	700	700	

627	名古屋社会主義研究会 一九〇四年(明治三十七)八月十四日.....	628	西川光次郎の「東海道遊説」 一九〇四年(明治三十七)八月二十八日.....	629	小田頼三・山口義三の伝道行商 一九〇四年(明治三十七)十一・十二月.....	630	伝道行商への規制 一九〇四年(明治三十七)十一月二十七日.....	631	名古屋同志の運動 一九〇六年(明治三十九)八月五日.....	632	名古屋社会主義演説会 一九〇六年(明治三十九)九月五日.....	633	名古屋社会主義演説会 一九〇六年(明治三十九)九月十五日.....	634	社会主義演説会(名古屋) 一九〇六年(明治三十九)九月十五日.....	635	片山潛・鈴木楯夫の東海道遊説予告 一九〇七年(明治四十四)十二月十五日.....	636	片山潛の「東海道遊説日記」 一九〇八年(明治四十一)一・二月.....	637	第三節 愛知における宮下太吉と大逆事件 宮下太吉の第一回予審調書 一九一〇年(明治四十三)六月四日.....	638	火薬調合を問われた同僚の証言 一九一〇年(明治四十三)六月一日.....	639	第四節 初期社会主義者群像 矢木鍵次郎の供述調書 一九一〇年(明治四十三)九月十五日.....	640	矢木てゑの供述調書 一九一〇年(明治四十三)九月十七日.....	641	石巻良夫の供述調書 一九一〇年(明治四十三)九月十六日.....	642	高木伴助の供述調書 一九一〇年(明治四十三)九月十九日.....	643	高木伴助の供述調書 一九一〇年(明治四十三)九月十六日.....	644	鈴木楯夫の供述調書 一九一〇年(明治四十三)九月十七日.....	645	鈴木楯夫の不敬事件(二九一〇年) 一九一一年(明治四十四).....	646	鈴木楯夫の不敬事件判決書 一九一〇年(明治四十三)十一月四日.....	647	第六章 住民問題と住民運動 第一節 地域紛争と住民運動 一 地方首長などへの批判 海西郡市腋村々長の解職請願 一八九二年(明治二十五)二月九日.....	733	726	726	726	725	725	724	724	723	723	720	719	718
-----	--------------------------------------	-----	--	-----	---	-----	--------------------------------------	-----	-----------------------------------	-----	-------------------------------------	-----	--------------------------------------	-----	--	-----	---	-----	--	-----	--	-----	---	-----	---	-----	-------------------------------------	-----	-------------------------------------	-----	-------------------------------------	-----	-------------------------------------	-----	-------------------------------------	-----	---------------------------------------	-----	--	-----	--	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

648	碧海郡大浜町々長の処置に町民激昂 一九〇一年(明治三十四)四月十四日……	773
649	東加茂郡足助警察署長の排斥運動 一九〇二年(明治三十五)三月六日……	774
650	碧海郡安城町々長に区民の抗議 一九一〇年(明治四十三)九月十五日……	775
651	知多郡旭村の字財産処分をめぐる紛議 一九一三年(大正二)六月二十日……	776
二 地方政策をめぐる紛争と規制		
652	宝飯郡小坂井村の漁場埋立紛争 一九〇六年(明治三十九)十二月二十四日……	776
653	東春日井郡篠岡村合併問題などの紛争 一九〇七年(明治四十一)七月五日……	777
654	軍への市有地提供に反対運動(豊橋市) 一九〇八年(明治四十二)五六六月……	778
655	海東郡水害地農民の怒り 一九〇九年(明治四十二)七月十九日……	779
656	知多郡豊浜町民の県養魚場負担反対運動 一九一四年(大正三)十月二十九日……	780
657	請願行動規制の通達 一九一四年(大正三)十一月七日……	781
三 公害など生活権をめぐる紛争		
658	名古屋市正木町住民がマッチ工場に反対 一九〇六年(明治三十九)八月十八日……	781
659	名古屋市南区住民の硫安工場反対運動 一九一三年(大正二)九月十四日……	782

660	愛知郡五ヶ町村民の屎尿工場反対運動 一九一四年(大正三)八月二十六日……	783
661	愛知郡御器所村住民の製陶工場反対運動 一九一六年(大正五)三月二十一日……	784
662	渥美郡漁民の軍艦爆破反対運動 一九一六年(大正五)八月三十日……	785
663	愛知郡呼続町住民が染料工場を襲撃 一九一六年(大正五)十二月十三日……	785
664	愛知郡農民が煙害で賠償金を獲得 一九一七年(大正六)七月……	786
第二節 学園生活をめぐる生徒の紛争		
665	県立第一中学校の紛争(論説) 一八九六年(明治二十九)十二月五日……	788
666	明倫中学校の紛争 一九〇六年(明治三十九)七月十日……	789
667	愛知医学専門学校の同盟休校 一九〇八年(明治四十二)十月一日……	790
668	尾張中学校の同盟休校 一九一六年(大正五)五月十九日……	791
669	私立愛知薬学校の同盟休校 一九一七年(大正六)三月十日……	792
670	県立第五中学校の紛争 一九一八年(大正七)十一月十五日……	793
第三節 都市住民の料金値下げ運動		
一 借家人の運動		
671	名古屋の家賃値上げ問題 一八九七年(明治三十九)二月十一日……	795

672	家賃の上昇と俸給生活	
	一九一一年(明治四十四)六月十九日.....	796
673	名古屋市中区の家賃値下げ運動	
	一九一四年(大正三)九月二十四日.....	796
674	名古屋の家賃値下げ運動と警察の内偵	
	一九一四年(大正三)十月一日.....	797
675	名古屋築港住民の家賃紛争	
	一九一四年(大正三)十月五日.....	798
676	家賃値上げに対抗して不払い同盟	
	一九一八年(大正七)四月一日.....	798
677	二 借地人の運動	
678	名古屋の借地料値上げで紛争	
	一八九九年(明治三十二)九月三十日.....	799
679	名古屋市東部の土地買占め問題	
	一九一二年(明治四十五)六月二十四日.....	800
680	徳川家借地料値上げに反発	
	一九一五年(大正四)三月八日.....	800
681	三 電気料金値下げ運動	
682	名古屋電灯の値上げに電力利用者の反対	
	一九〇七年(明治四十六)六月十六日.....	802
683	名古屋電灯に対する料金値下げ運動	
	一九一〇年(明治四十三)八月四日.....	802
684	豊橋電気会社の料金問題と横暴(論説)	
	一九一四年(大正三)二月十日.....	804
685	知多郡亀崎町の電灯料値下げ運動	
	一九一四年(大正三)二月二十五日.....	806
686	西三河の電灯料値下げ運動	
	一九一四年(大正三)三月一日.....	806
687	知多郡大府町の電灯料値下げ運動	
	一九一六年(大正五)五月九日.....	806
688	第四節 名古屋電車焼き打ち事件	
689	一 電車賃引下げ問題	
690	名古屋電鉄批判と電車賃問題(論説)	
	一九二二年(大正元)八月二十六日.....	807
691	理財攻究会の料金値下げ決議	
	一九一四年(大正三)七月一十三日.....	808
692	電鉄会社が料金改正案を提出	
	一九一四年(大正三)八月十六日.....	809
693	大三俱楽部の電鉄批判	
	一九一四年(大正三)八月十六日.....	809
694	二 焼き打ち騒擾事件	
695	電車賃値下げ要求市民大会(九月六日)	
	一九一四年(大正三)九月七日.....	811
696	丹羽郡古知野町の電灯料値下げ運動	
	一九一三年(大正二)十一月二十八日.....	812
697	軍隊の出動(九月七日夜)	
	一九一四年(大正三)九月八日.....	812

705	704	703	第七章 商工業者・地主と言論人の運動	697	696
一 名古屋商業會議所の営業税法案批判の請願	二 日露戦争期の増税と反税運動				
一一九〇四年(明治三十四)一月十九日	一一九一四年(大正三)一月三十一日	828	827	825	816
一一八九六年(明治二十九)二月二十六日	一一九〇四年(明治三十七)十二月十五日	824	823	822	817
一一八九七年(明治三十)五月七日	一一九一四年(大正三)十月三十一日	702	701	700	698
一一東海四県酒造組合の増税反対決議	一一一九一四年(大正三)九月十九日	703	704	705	697
一一一九一四年(明治三十四)一月十九日	一一一九一四年(大正三)九月九日	828	827	825	696
一一騒動第四夜は漸く静謐に(九月九日夜)	一一騒動第四夜は漸く静謐に(九月九日夜)				
一一一九一四年(大正三)九月十一日	一一一九一四年(大正三)九月十一日	699	698	697	696
一一住民が安全保護を要求	一一住民が安全保護を要求				
一一一九一四年(大正三)九月十一日	一一一九一四年(大正三)九月十一日	819	818	817	816
一一起訴者と警察施設・電鉄の被害	一一起訴者と警察施設・電鉄の被害				
一一一九一四年(大正三)九月十二日	一一一九一四年(大正三)九月十四日	821	820	819	818
一一焼き打ち事件の論評	一一焼き打ち事件の論評				
一一一九一四年(大正三)九月十四日	一一一九一四年(大正三)九月十四日	822	821	820	819
一一焼き打ち事件の教訓(論説)	一一焼き打ち事件の教訓(論説)				
一一一九一四年(大正三)九月十九日	一一一九一四年(大正三)九月十九日	702	701	700	698
一一電車賃下げの広告	一一電車賃下げの広告				
一一一九一四年(大正三)十月三十一日	一一一九一四年(大正三)十月三十一日	824	823	822	698
一一三 地租軽減運動	一一三 地租軽減運動				
一一東海地方農民の増租反対団体結成	一一東海地方農民の増租反対団体結成				
一一一八九八年(明治三十)一二月二十四日	一一一八九八年(明治三十)一二月二十四日	712	711	710	709
一一県会議員の増租反対協議会	一一県会議員の増租反対協議会				
一一一九〇二年(明治三十五)十二月十八日	一一一九〇二年(明治三十五)十二月十八日	713	712	711	709
一一各地の地租軽減請願書を集約	一一各地の地租軽減請願書を集約				
一一一九一〇年(明治四十三)一月十九日	一一一九一〇年(明治四十三)一月十九日	833	832	831	830
一一二 第二節 大正前期の反税・減租運動	一一二 第二節 大正前期の反税・減租運動				
一一一九一四年(大正三)一月三十一日	一一一九一四年(大正三)一月三十一日	834	833	832	828
一一一九一四年(大正三)一月三十一日	一一一九一四年(大正三)一月三十一日	836	835	834	828

-

-

748	747	746	745	744	743	742	741	740	739
太田三次郎と海軍廓清運動 在名記者団の海軍改革演説会 一九一四年(大正三)三月九日.....	一 二 海軍廓清運動	地方の閥族も打破せよ(論説) 一九一三年(大正二)九月二十六日.....	東海五県記者大会の決議 一九一三年(大正二)二月二十七日.....	国民と閥族との政戦(論説) 一九一二年(大正元)十二月四日.....	一九〇九年(明治四十二)一月二十日.....	名古屋新聞俱楽部の総会 一九〇九年(明治四十二)一月二十日.....	「大正デモクラシー」の登場 一九〇五年(明治三十八)九月二十一日.....	講和反対愛知県民大会 一九〇五年(明治三十八)九月二十日.....	講和反対愛知県民大会開催の案内広告 一九〇五年(明治三十八)九月二十日.....
865	864	863	862	861	861	860	859	858	857
758	757	756	755	754	753	752	751	750	749
第一節 県内各地の米騒動 一 名古屋地域の米騒動	米価を呪う大群衆(八月九日) 一九一八年(大正七)八月十日.....	吉野作造の民本主義講演会(名古屋市) 一九一八年(大正七)十二月二十八日.....	小林橋川の民本主義論 一九一八年(大正七)一月三十日.....	普通選挙期成会の活動 一九一七年(大正六)九一十月.....	桐生悠々の『新愛知』入社の辞 一九一四年(大正三)六月十日.....	普通選挙の主張(論説) 一九一四年(大正三)一月十七日.....	民政主義論(論説) 一九一四年(大正三)一月十四日.....	知多郡大野町・額田郡岡崎町での太田演説会 一九一四年(大正三)四月九日.....	太田三次郎の凱旋演説会(名古屋市) 一九一四年(大正三)四月五日.....

+

759	公園を圧す呪いの声（八月十日）	知多郡横須賀町の米騒動（八月十四日）（予審終結決定書より）
760	不穏の色濃き第三夜（八月十一日）	一九一八年（大正七）八月十一日……
761	全市に亘る大暴動（八月十二日）	一九一八年（大正七）八月十二日……
762	一九一八年（大正七）八月十三日……	一九一八年（大正七）八月十三日……
763	暴動第六夜 市中依然暗黒（八月十四日）	一九一八年（大正七）八月十四日……
764	名古屋市の米騒動（予審終結決定書より）	一九一八年（大正七）八月十五日……
765	愛知郡下之一色町の米騒動（八月十三・十四日）（予審終結決定書より）	一九一八年（大正七）八月十五日……
766	愛知郡鳴海町の米騒動（八月十四日）（予審終結決定書より）	一九一八年（大正七）十一月二十六日……
767	中島郡一宮町の米騒動（八月十二日）	一九一八年（大正七）十一月二十七日……
768	中島郡一宮町の米騒動（予審終結決定書より）	一九一八年（大正七）十一月二十八日……
769	東春日井郡瀬戸町の米騒動（八月十二・十三日）	一九一八年（大正七）十一月二十九日……
770	東春日井郡瀬戸町の米騒動（予審終結決定書より）	一九一八年（大正七）十一月三十日……
771	丹羽郡岩倉町の米騒動（八月十四日）	一九一八年（大正七）十二月十四日……
911	一九一八年（大正七）八月十五日……	一九一八年（大正七）十二月十五日……
909	一九一八年（大正七）八月十六日……	一九一八年（大正七）十二月十六日……
908	一九一八年（大正七）八月十七日……	一九一八年（大正七）十二月十七日……
906	一九一八年（大正七）八月十八日……	一九一八年（大正七）十二月十八日……
905	一九一八年（大正七）八月十九日……	一九一八年（大正七）十二月十九日……
904	一九一八年（大正七）十月十八日……	一九一八年（大正七）十月二十一日……
902	一九一八年（大正七）十一月二十六日……	一九一八年（大正七）十一月二十七日……
778	碧海郡刈谷町の米騒動（八月十五日）（予審終結決定書より）	一九一八年（大正七）十一月二十八日……
777	宝飯郡蒲郡町・三谷町の米騒動（八月十四日）（予審終結決定書より）	一九一八年（大正七）十一月二十九日……
776	岡崎市米騒動事件（八月十四日）の求刑	一九一八年（大正七）十一月三十日……
775	額田郡福岡町の米騒動（八月十三日）	一九一八年（大正七）十二月一日……
773	豊橋市の米騒動（八月十二・十三日）	一九一八年（大正七）十二月二日……
772	豊橋市福岡町の米騒動（八月十三日）	一九一八年（大正七）十二月三日……

+

772	知多郡横須賀町の米騒動（八月十四日）（予審終結決定書より）	一九一八年（大正七）九月二十七日……	911
773	豊橋市の米騒動（八月十二・十三日）	一九一八年（大正七）九月二十八日……	912
774	豊橋市の米騒動（予審終結決定書より）	一九一八年（大正七）九月二十九日……	920
775	額田郡福岡町の米騒動（八月十三日）	一九一八年（大正七）十月十六日……	924
776	宝飯郡蒲郡町・三谷町の米騒動（八月十四日）（予審終結決定書より）	一九一八年（大正七）十月十七日……	922
777	岡崎市米騒動事件（八月十四日）の求刑	一九一八年（大正七）十月十八日……	924
778	碧海郡刈谷町の米騒動（八月十五日）（予審終結決定書より）	一九一八年（大正七）十月十九日……	924
779	県と名古屋市の米安売り競争	一九一八年（大正七）十月二十五日……	927
780	名古屋市の米屋大繁昌	一九一八年（大正七）八月十七日……	929
781	西春日井郡西枇杷島町の米廉売	一九一八年（大正七）十月一日……	930

第二節 報道禁止と新聞の反撃

+

米騒動記事の掲載禁止			
一九一八年(大正七)八月十六日……	782	783	784
新聞紙の食糧攻め 起てよ全国の新聞紙！ 桐生悠々			
一九一八年(大正七)八月十六日……	932	933	934
言論擁護と内閣弾劾 中京記者協会の奮起			
一九一八年(大正七)八月十七日……	935	936	785
言論擁護・内閣弾劾 東海新聞記者大会の決議			
一九一八年(大正七)八月二十一日……	932	933	934